

国際講演会

参加無料
定員100名

WEBからのお申し込みとなります。

▶ NUMO ホームページ
www.numo.or.jp

～ ベルギーにおける放射性廃棄物処分の現状と今後 ～

2017年11月14日 火

13:30 開会

三田NNホール&スペース 多目的ホール

東京都港区芝4-1-23 三田NNビル地下1階
(都営三田線、浅草線「三田」駅A9出口直結)

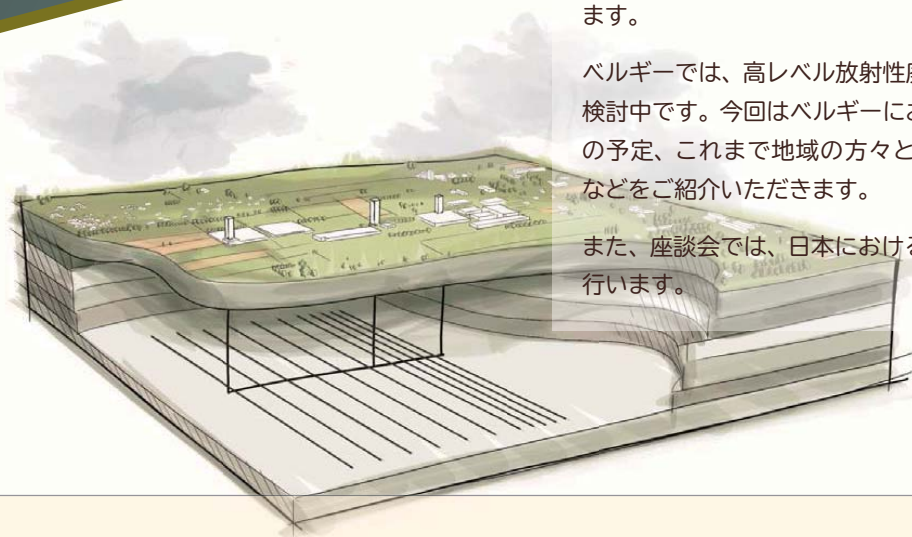
開催趣旨

NUMOでは、これまで諸外国における地層処分の取り組み等について、シンポジウムや講演会などを開催し、ご紹介しています。

このたび、ベルギーの放射性廃棄物処分の実施主体である ONDRAF / NIRAS (ベルギー放射性廃棄物・濃縮核分裂性物質管理機関) の前理事長 ジャン=ポール・ミノン氏をお招きし、講演会を開催いたします。

ベルギーでは、高レベル放射性廃棄物について処分の基本方針などを検討中です。今回はベルギーにおける放射性廃棄物管理の現状や今後の予定、これまで地域の方々との関与をどのように進めてきたのかなどをご紹介いただきます。

また、座談会では、日本における今後の進め方等に関して意見交換を行います。



「ベルギーの地層処分場イメージ」

プログラム

日英同時通訳付き

- 13:30 開会挨拶 近藤 駿介 (原子力発電環境整備機構 (NUMO) 理事長)
- 13:40 講演「ベルギーにおける放射性廃棄物処分の現状と今後」
ジャン=ポール・ミノン氏 (ベルギー ONDRAF / NIRAS 前理事長)
- 14:30 質疑応答
- 14:45 休憩
- 15:00 座談会
ジャン=ポール・ミノン氏
村上 朋子氏 ((一財)日本エネルギー経済研究所 戦略研究ユニット 原子力グループ グループマネージャー 研究主幹)
近藤 駿介
- 16:00 閉会